

# 岡山市

市民みんなで作る！

## 精神障害者を地域で支える 『包括ケアのまち岡山』実現に向けて

岡山市では、従来、精神障害者の地域生活を支えるうえでの医療・保健・福祉その他領域における課題については、それぞれの領域ごとに議論されており、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」として体系的・継続的な協議の場は整備されていなかった。

平成28年度以降、自立支援協議会精神保健福祉部会や既存の審議会の役割を整理し、医療・保健・福祉関係者による協議の場の設置に向けた検討を進めるなど、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めているところである。

今回は、岡山市における精神障害者の地域生活支援に係るこれまでの取組について振り返るとともに、今後の地域包括ケアシステムの構築に向けての課題について報告する。

## 1 県又は政令市の基礎情報

### 岡山市



#### ◀岡山市の地域包括ケアシステム推進に向けての取組状況▶

- 平成27年4月に「岡山市障害者プラン」及び「第4期岡山市障害福祉計画」を策定。医療・保健・福祉に係る関係各部署が、各領域毎の地域包括ケアシステムの検討を開始した。
- 平成28年度に地域精神保健福祉連絡会と自立支援協議会（精神保健福祉部会）のあり方について協議し、各会議の体制を見直した。
- 平成29年度は措置入院患者の退院後支援のための個別ケース検討会議等をモデル的に実施するとともに、市内全ての精神科病院に対して、長期入院患者の退院阻害要因等に関する実態調査を実施。
- 平成30年4月に「岡山市障害者プラン」及び「第5期岡山市障害福祉計画・第1期岡山市障害児福祉計画」を策定。精神障害者地域移行・地域定着推進協議会などの保健、医療、福祉関係者による協議の場を平成30年度末までに設置することを目標に設定。

### 基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（H31年4月時点）	1	か所	
市町村数（H31年4月時点）	1	市町村	
人口（H31年4月時点）	719,792	人	
精神科病院の数（H31年4月時点）	8	病院	
精神科病床数（H29年6月時点）	2,666	床	
入院精神障害者数 （H29年6月時点）	合計	2,145	人
	3か月未満（％：構成割合）	599	人
		27.9	％
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	416	人
		19.4	％
1年以上（％：構成割合）		1,130	人
		52.7	％
	うち65歳未満	384	人
	うち65歳以上	746	人
退院率（-）	入院後3か月時点	-	％
	入院後6か月時点	-	％
	入院後1年時点	-	％
相談支援事業所数 （H31年4月時点）	基幹相談支援センター数	0	か所
	一般相談支援事業所数	31	か所
	特定相談支援事業所数	52	か所
保健所数（H31年4月時点）	1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度（H30年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	10	回／年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有	無
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H31年4月時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所／障害圏域数
	市町村	有・無	1 / 1  か所／市町村数

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 《精神障害をもち、暮らしやすいまちづくり》

#### □適切な医療や相談が受けられるまち

身体科・精神科双方の医療機関による連携のもと、必要に応じた医療や相談が受けられる体制整備。  
未受診や医療中断などによる地域生活の維持及び継続が困難となっている者への支援。

- ⇒ 精神科救急情報センター、精神科病院群輪番制度、
- ⇒ 身体・精神合併症救急連携事業
- ⇒ 危機状況への介入、通報後フォロー会議、岡山市精神保健医療緊急対応連絡会

#### □障害があっても、わけ隔てのなく受け入れられるまち

全ての市民が相互に人格と個性を尊重しあいながら共生できるまちづくりにむけ、障害当事者主体の活動に対する支援。  
精神疾患に関する理解の普及啓発の促進と、精神障害者の地域生活安定のための環境づくり。  
長期入院者の退院支援に関して、病院や地域支援事業所などとの継続的かつ効果的な連携の強化。

- ⇒ 岡山市障害者等自発的活動支援事業、精神障害についての普及啓発事業
- ⇒ 岡山市差別解消支援地域協議会、日常生活自立支援事業
- ⇒ 岡山市精神障害者地域支援対策審議会

#### □障害をもち、希望を持ち、自己実現がなされるまち

障害をもち、生きがいを持ち、社会参加の機会が得られる環境の整備。  
障害者同士が交流が図れる場の提供。  
障害者の生活基盤の安定のための、支援者間の情報共有と支援方針の協議。

- ⇒ 障害福祉サービス事業
- ⇒ 岡山市精神障害者ピアサポート活動支援事業、当事者会、家族会支援
- ⇒ 障害者虐待防止会議

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- 岡山市では、平成21年に政令指定都市となって以降、精神障害者の地域生活支援体制の拡充に向け、保健、医療、福祉などの各領域との連携を念頭に、各事業を実施してきた。
- これまで縦断的な精神障害を持つ方の地域生活支援に関する事業について、地域精神保健福祉連絡会において、各地域毎の協議と同会幹事会により各福祉区から挙げられた課題の共有等を実施してきたが、地域包括ケアシステムの体系化に向けての協議は実施できていなかった。



- 平成27年4月に「障害のある人もない人も共に支え合って暮らすまちづくり」「障害のある人の社会参加と自立促進」「障害を理由とする差別や社会的障壁の解消」の3点を基本理念とする「岡山市障害者プラン」及び「第4期岡山市障害福祉計画」を策定。これを受け、保健所運営会議において、精神保健福祉領域でも地域包括ケアの体系化を念頭に、今後の精神障害者地域生活支援を検討する必要があるのではないかと意見が出たため、試行的にシステム像のイメージの検討がなされた。
- 平成28年度は、自立支援協議会精神保健福祉部会等、障害当事者、医療・保健・福祉・その他地域の精神障害者の地域生活に関わる関係者との間で、地域包括ケアシステムとその内容について協議を開始した。
- 平成29年度は、精神保健福祉法改正案への対応を想定し、措置入院患者の退院後支援計画作成等をモデル的に実施した。また、市内全ての精神科病院に対して、長期入院患者の退院阻害要因等に関する実態調査を実施した。これらの取組の中で、精神障害者の地域移行において医療機関と地域の相談支援事業所等とが連携するための土台作りを行った。
- 平成30年4月に「岡山市障害者プラン」及び「第5期岡山市障害福祉計画・第1期岡山市障害児福祉計画」を策定。国の基本指針では、精神障害者地域移行・地域定着推進協議会などの保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置することを基本としていることから、本市においても協議の場を平成30年度末までに設置することを目標に設定。
- 平成30年度の取組としては、措置入院者等の退院後支援を実施するとともに、退院後支援担当者連絡会を新設し、医療機関、地域援助事業者と具体的運用や個別課題の共有を図った。また、昨年度に引き続いての市内全ての精神科病院に対する長期入院患者実態調査の実施に加え、精神障害者地域移行支援連絡会の開催による事例検討など、精神障害者の地域移行の促進に向けて、医療機関と地域の相談支援事業所等との連携強化を図った。

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

## ＜平成30年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (H30年度当初)	実績値 (H30年度末)	具体的な成果・効果
①自立支援協議会精神保健福祉部会、岡山市精神障害者地域支援対策審議会の開催回数	部会：年6回 審議会：年1回	部会：年10回 審議会：年1回	「協議の場」に向けて、部会は当初年6回の予定を10回実施し、十分な議論を重ねた。地域包括ケアシステムの構築に向けた課題整理や政策提言に向けた議論の場としての活用はできている。
②ピアサポーター養成者数・派遣依頼件数	養成者数 10名 派遣依頼件数 36件	養成者数 11名 派遣依頼件数 69件	平成30年度から、ピアサポーターの養成と派遣を同一事業所に委託し実施した。このことにより、派遣依頼に柔軟に対応する体制と、派遣前後のピアサポーターに対するフォローアップ体制が確保された。
③長期入院患者に関しこころの健康センターが退院支援を行い、障害福祉サービスにおける地域移行支援利用に至った数	1件	3件	長期入院患者の実態把握を行ったことで、効果的に退院支援に取り組むことができた。また、精神科病院や相談支援事業所の理解が少しずつ深まってきている。



## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

### 【特徴(強み)】

1. 自立支援協議会や地域精神保健福祉連絡会等での活動により、各地域に存在する医療機関、障害福祉サービス事業所、相談支援機関及び行政との間で、顔が見える関係が構築されており、地域包括ケア体制について共有および検討がしやすい土壌がある。
2. ピアサポーターをはじめ、当事者とそれを支える地域活動支援センター等の積極的な活動が経年的に行われている。
3. 障害福祉サービスにおける地域移行支援事業以外に、市独自の事業としてこころの健康センターが医療機関への訪問や研修会を経年的に実施している。市内の全精神科病院において、長期入院患者の実名入りの実態調査に協力を得られるなど、医療機関等関係機関側の理解が促進されつつあり、退院支援の導入にも協力的である。
4. 健康ボランティアである愛育委員や民生委員等の活動が活発で、精神障害者を支える地域づくり活動の基盤がある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
1. 保健・医療・福祉関係者による「協議の場」について、地域包括ケアシステムの構築に向けた課題整理や政策提言を行う役割が体系的に整理ができていない。	1. 岡山市精神保健福祉審議会を「協議の場」として明確に位置付け、体系的な整理を行う。 2. 「協議の場」を定期的に開催し、ピアサポーターの養成・活用等、精神障害者の地域支援についての具体的な検討を行う。	行政	既存の会議等が「協議の場」としての機能を有しているが、体系的な整理が必要。
		医療	<b>未把握</b>
		事業者	
		その他関係機関・住民等	
2. 障害福祉サービスにおける地域移行支援の活用が進んでいない。	1. 計画相談支援事業所と定期的に協議(計画WG)を行い、研修会を実施し障害福祉サービスの活用や周知を図る。 2. 自立支援協議会地域部会(地域移行WG)において、地域移行支援の情報共有や事例検討等を行い理解を深める。 3. 長期入院患者調査の結果を踏まえ、医療機関や相談支援事業所等との情報交換会を実施するなどして両者をつなぎ連携を促進し、地域移行支援の充実を図る。	行政	まずは医療機関と相談支援事業所等との顔の見える関係づくりが必要。
		医療	<b>未把握</b>
		事業者	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①自立支援協議会精神保健福祉部会、岡山市精神障害者地域支援対策審議会の開催回数	部会: 1回 審議会: 1回	部会: 年6回 審議会: 年1回	地域包括ケアシステムの構築に向けた課題整理や政策提言に向けた協議
②ピアサポーター養成者数・派遣依頼件数	養成者数: 未実施 派遣依頼件数: 9件	養成者数: 10名 派遣依頼件数: 60件	・ピアサポーターの資質向上、就労・活躍の場の拡大 ・ピアサポーターを活用できる医療機関・事業所の拡大 ・一般市民等に対する精神障害についての普及啓発 ・精神障害者の地域移行・地域定着の推進
③長期入院患者に関しこころの健康センターが退院支援を行い、障害福祉サービスにおける地域移行支援利用に至った数	3件	6件	精神科病院の障害福祉サービスにおける地域移行支援についての理解の促進及びサービス利用の促進

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
通年	岡山市精神障害者地域移行支援連絡会	研修・事例検討(年4回)
通年	岡山市自立支援協議会地域移行支援WG	研修会(2地域・各12回)
通年 通年	岡山市自立支援協議会 岡山市自立支援協議会精神保健福祉部会	運営会議(年6回)、全体会(年1回) コア会議(年10回)、全体会(年2回) 幹事会(年2回)、全体研修会(年1回)
通年	岡山市地域精神保健福祉連絡会	幹事会(年2回)、全体研修会(年1回)、地域別連絡会(6地域、年1回)
通年	計画WG	計画相談支援事業所との協議(年8回)、研修会(年4回)
5～3月 8～3月	ピアサポーター派遣事業 ピアサポーター養成講座	ピアサポーター派遣 ピアサポーター養成講座、交流会、フォロー研修
6月	岡山市精神障害者地域移行支援連絡会	市内精神科病院と地域生活支援センター I 型事業所・一般相談支援事業所との顔合わせ
6月・2月	退院後支援担当者連絡会	退院後支援担当者連絡会(年2回)
10～11月	市長同意入院者への個別面談	市長同意入院者への個別面談
12月	岡山市精神科病院入院患者調査	市内全精神科病院における1年以上長期入院患者の実態調査
1～2月	岡山市精神保健福祉審議会	岡山市精神保健福祉審議会(年1回)
2月	岡山市精神障害者地域支援対策審議会	岡山市精神障害者地域支援対策審議会(年1回)